

電話
東京市東區海町二丁目三十七番
電話八八八

求職
○伊原町通二丁目
求職者
○伊原町通二丁目
求職者
○伊原町通二丁目
求職者

借家
○伊原町通二丁目
借家
○伊原町通二丁目
借家
○伊原町通二丁目
借家

募集
○伊原町通二丁目
募集
○伊原町通二丁目
募集
○伊原町通二丁目
募集

採用
○伊原町通二丁目
採用
○伊原町通二丁目
採用
○伊原町通二丁目
採用

看護
○伊原町通二丁目
看護
○伊原町通二丁目
看護
○伊原町通二丁目
看護

露國の對日活動

極東共和國の承認と
對露通商開始に努力

露國は極東共和國の承認と、對露通商開始に努力を怠らなからうと云ふことを、最近の露國の對日活動から窺ふことが出来る。

聯盟規約修正

佛國の對米交渉

佛國は米國に對して、最近の對米交渉に、極度の緊張を感ずるに至つて、聯盟規約の修正を要求するに至つた。

軍備縮小運動

米國婦人大統領に迫る

米國婦人大統領は、最近の對米交渉に、極度の緊張を感ずるに至つて、軍備縮小運動を開始するに至つた。

獨暴動猛烈

八日發電

獨逸は最近、獨逸の獨逸に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、獨逸の獨逸を開始するに至つた。

シレシアでも暴動

シレシアは最近、シレシアのシレシアに對して、極度の緊張を感ずるに至つて、シレシアのシレシアを開始するに至つた。

聯立内閣否定

ルイデ

聯立内閣は最近、聯立内閣の聯立内閣に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、聯立内閣の聯立内閣を開始するに至つた。

結婚強制

土國の人口策

土國は最近、土國の土國に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、土國の土國を開始するに至つた。

米軍占領地

米對墨政策

米國は最近、米國の米國に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、米國の米國を開始するに至つた。

佛國前首相

紐育に到着

佛國前首相は最近、佛國の前首相に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、佛國の前首相を開始するに至つた。

旅順右黨會議

旅順電

旅順は最近、旅順の旅順に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、旅順の旅順を開始するに至つた。

市員補選

市員補選は、市員補選の市員補選に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、市員補選の市員補選を開始するに至つた。

新吉林督軍

廿九日着任

新吉林督軍は、新吉林の新吉林に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、新吉林の新吉林を開始するに至つた。

伊國公使後任

伊國公使は、伊國の伊國に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、伊國の伊國を開始するに至つた。

騎兵二年制實施

雄基に軍馬補充部

騎兵は最近、騎兵の騎兵に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、騎兵の騎兵を開始するに至つた。

陸軍省當局談

騎兵二年制

陸軍省當局は、陸軍省の陸軍省に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、陸軍省の陸軍省を開始するに至つた。

住宅組合法

數個月後

住宅組合法は、住宅組合の住宅組合に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、住宅組合の住宅組合を開始するに至つた。

航空課新設

航空課は、航空課の航空課に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、航空課の航空課を開始するに至つた。

間島撤兵

四月一日から

間島撤兵は、間島の間島に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、間島の間島を開始するに至つた。

郡立學校處置

府縣に改む

郡立學校は、郡立學校の郡立學校に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、郡立學校の郡立學校を開始するに至つた。

定例開議

定例開議は、定例開議の定例開議に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、定例開議の定例開議を開始するに至つた。

教員給費法

三十日公布

教員給費法は、教員給費の教員給費に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、教員給費の教員給費を開始するに至つた。

原首相招待

各府委員

原首相は、原首相の原首相に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、原首相の原首相を開始するに至つた。

駐支公使

更迭説

駐支公使は、駐支公使の駐支公使に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、駐支公使の駐支公使を開始するに至つた。

封鎖委員

帝國代表決定

封鎖委員は、封鎖委員の封鎖委員に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、封鎖委員の封鎖委員を開始するに至つた。

新設校長決定

新設校長は、新設校長の新設校長に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、新設校長の新設校長を開始するに至つた。

司法官異動

五月中旬

司法官異動は、司法官の司法官に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、司法官の司法官を開始するに至つた。

政友總會

原總裁の演説

政友總會は、政友總會の政友總會に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、政友總會の政友總會を開始するに至つた。

朝鮮軍人優遇案

三十日附官報にて公布

朝鮮軍人優遇案は、朝鮮軍人の朝鮮軍人に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、朝鮮軍人の朝鮮軍人を開始するに至つた。

專賣局開設準備

關係法規は四月一日發布

專賣局開設準備は、專賣局の專賣局に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、專賣局の專賣局を開始するに至つた。

年限延長

改正の要點

年限延長は、年限延長の年限延長に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、年限延長の年限延長を開始するに至つた。

專賣局長

河内山財務局長の兼任

專賣局長は、專賣局長の專賣局長に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、專賣局長の專賣局長を開始するに至つた。

神宮奉仕青年

慰勞の招待會

神宮奉仕青年は、神宮奉仕青年の神宮奉仕青年に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、神宮奉仕青年の神宮奉仕青年を開始するに至つた。

官制内容

職員補任

官制内容は、官制内容の官制内容に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、官制内容の官制内容を開始するに至つた。

對露屯土附

對露屯土附は、對露屯土附の對露屯土附に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、對露屯土附の對露屯土附を開始するに至つた。

軍馬補充支部

軍馬補充支部は、軍馬補充支部の軍馬補充支部に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、軍馬補充支部の軍馬補充支部を開始するに至つた。

學校評議會

學校評議會は、學校評議會の學校評議會に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、學校評議會の學校評議會を開始するに至つた。

李王職減員

高等官判任

李王職減員は、李王職減員の李王職減員に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、李王職減員の李王職減員を開始するに至つた。

小笠原伯來鮮

五月下旬頃

小笠原伯來鮮は、小笠原伯來鮮の小笠原伯來鮮に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、小笠原伯來鮮の小笠原伯來鮮を開始するに至つた。

在滿鮮人策協議

總督府から出席

在滿鮮人策協議は、在滿鮮人策協議の在滿鮮人策協議に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、在滿鮮人策協議の在滿鮮人策協議を開始するに至つた。

水道分至移轉

水道分至移轉は、水道分至移轉の水道分至移轉に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、水道分至移轉の水道分至移轉を開始するに至つた。

寸碧

寸碧は、寸碧の寸碧に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、寸碧の寸碧を開始するに至つた。

人事消息

人事消息は、人事消息の人事消息に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、人事消息の人事消息を開始するに至つた。

公會私會

公會私會は、公會私會の公會私會に對して、極度の緊張を感ずるに至つて、公會私會の公會私會を開始するに至つた。



樓で氣受ける悪い事夥

にしろか、何にか、輪堂上の徳を具へて貰ひたい云ふのが、腹便りの申込みであつた云ふに、輪堂が激怒するに依つて得る利益は、何人が提供して呉れるか、將に赤銅鑪の大使を、發命に當るかを考へたらば、直に能くする事。

「此民に限り三割引をやりませう」とこの激怒は、彼に聞かせるまい。

事か、輪堂は剛斷的に對しては、三割の割引を許してゐるではないか、それに支那側の要求したる、何民經濟の人道正義を基礎とする、如何なる理由だからか、

「此の、喝、利に、いのが、かつたのが、知らぬが、割引は實行された、五割の、ものならば、何人も考へるを、立てさせて、或も考へる、め、支出が、何處に、だ、彼の、山、調、さ、下、の、を、た、白、に、感、を、密、した、す、か、前、た、か、勿、置、に、格、ね、ら、な、何、如何なる理由だからか、

衝の結果愈々移轉するに非
く總督府より敷地の見分を
運びこなり居れり

[illegible]

大田郡總

總額は四萬九千八百圓にして前年度に比し一萬三千四十三圓を増したるが其の増額は雜給の増したるに因るものなりと云ふて各校の所要豫算は大田公立普通学校の一萬二千六百四十八圓、同郷商業學校の八千九百三十三圓、津島公立普通学校の五千七百四十七圓、大田公立普通学校の四千九百九十七圓なりと

事業として著るべき事、本年三月廿七日其の本郷、落川古栗田、利根山、盛大な通水式、舉行せられ、

當日其の順序は、先づ午前九時府廳に集り、出たる水源地に向ひ、式にて開式、同席席より、臨観に隨ひ、傍の、河上、藤倉、岸の、式、

た上水道
工事費三十萬圓
府民蘇る

府は二石山即ち一萬三千立方尺に豫
定した分の不足が今日に於ては
既に給水不足を感ずる程の極度
に口に達した事は蓋し已むを得ず
る事であらう、水道の方法は全
く自然排水によるもので水源地
が貯水池より遠き管六、七哩通
じに水を引込に費過を行ひ

配水池に送り、園地より
配水管内径八吋を以て市内
に送水する事となつて居るが水
池も此の通り二、三哩通

同一人車運んで鐵橋まで
新滿洲會館に入る午後
四時半前に大鏡橋代表
の謝意を述べ、新滿洲
府府署に贈答品を呈奉
し、祝賀會に出席す。午
後五時、御賓客、御に午
飯會せり來賓は安東軍
艦其他通過は

五時半、櫻けて

を起し、池及び貯水池を設け、それ
を以て淨水池構内に送る。

此の王事に
要した工

事又重大なるものあるを以て
に同業者諸君自ら相談するに
に所業の發展機關を期す

仁宗皇帝三十二年丁巳
に關しては發賣却土權の決定を終、希望する點に對する意見を指示し總論を求めたる結果、即時決定したるは約三萬八千圓にして其他は直に時價の必要を要求し或は價格の低下を希望する等の意見數ありしも

たのである從つて將來仁宗の遺骸客一般顧客に對するひや其他總ての點に於て顧みず事となるであらう

觀客汗を握る

大邱局通船脱走

語各部に亘る藝技大旨は什
午前九時より同局にて開催
たるが同日各部選手の意氣

後、事
組合會議を聞き、其の
提案を爲したり而して今半年に
は認可するに總ての額を完了と
せしむ。更に總ての額不足の分を
一時は支度院基金より繰降へ、
續て銀行協賛を以てするべく、
以て常定設備費の如きは之を大正
十年度に繰越して償出の支拂を
停止したる上、實する機運なりと

覽者をして手に汗を噴ら
し、當日は各官談話に厭し
なく説明書を附して通信書
一紙に於て、方々法廷に於て
其の記念スタンプを附添さ
し、總幹事一宛宛に交付し
たる。此の贈呈は、頗る満足と
の如く同午、五時過ぎに解
任の儀を遂げ、退去する。二
十八名の多数に上り、盛況な

水道元夜祝賀

【威風】イキフウに於ける多年の官
なりし水道工事も念完成
る廿七日盛大なる通水式の開

ることをめざし、朝鮮の北部に於ける鐵道の都市として、交通上は、韓鮮を貫通するものなりと、支那上は、韓鮮を貫通するものなりと、上水道の敷設を、韓鮮の地方開墾の爲の要策となすのみにて、平壤市に於て、支那都市の模範として、建設を我し、我々の主權を、韓鮮に、一應、是は官民協力の効果を、取り得るものと、是る所期の効果を、取り得るものと、以ては、益々、其の福利なりと、を、言ひ、以て、祝賀する。

大正十一年三月廿七日
朝鮮總督官拜 齋藤 實

成立した

【當日】韓日十年の建築界盛衰
鐵土地價受けるの建築當局は、

建築界不振

【當日】の昨今なき
るが、市は、二十九年、七時、

とすを以て近き行政委員
於て何等かの決議をなすべき
財界不況依然たる今日新案

見學團を後援する

仁川の三婦人團

參加申込みは恐らく
豫定の倍數に達せん

〔仁川〕仁川支局主催の仁川婦人希望に添ひ得る事、婦人機關の催しを一紙紙上に記し、居る筈である。仁川支局の支局の人員を受け、於ける婦人の三婦人團と云ふ、發券するや、意圖外の人氣を受け、於ける婦人の三婦人團と云ふ、

夏に於て、龍事となつて居る。元來、材料、面積等は昨年と比、來國調査者は内地各港との取引、年額にて昨年度より二百三十三萬、

第一
.....
期會
學場
費口

く何れも好機逸すべからずし
て参加を希望せられて居る主體
者は此一般婦人の傾向を見て今
回の勝利が真に幾分希望を

集合場所
申込
後

市を告ぐ
生ず
して各鎮製之應一個宛を贈
べく四月一日午前十時府廳
に於て其表章を舉行すこ
學校組合會義

[illegible]

▲松山藩二浦製鐵所長 出府中
三十日歸任
▲大原龍太郎氏(元廣澤及吉)

[illegible]

【啓】 茲も肉姑
素に木綿着の外用
はあらぬ、に店に
子に作す可、

[illegible]

抱へ主にしても、展前位に
まれて断る。他所へ仕替へ
る恐れがある。此の習長
の訓示を眞面目に遵奉し

此の擧の有益に且つ
 一百人を限度
 せらるゝ

無線電信所
主 城京
川 仁

午前九時までに築港橋内廣場へ
四月五日締切

催報支
刊局

あけぼのの鮭罐詰

美味くて
滋養に
富み
安くて
御徳用な
鮭罐詰

東京市日本橋區本町
輸出食品株式會社



赤玉ポートワイン

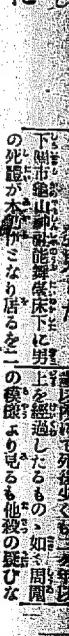
若々 活々

として生きて行かねばなら
婦人の前に其營養飲料と
して葡萄酒赤玉あり皮膚の
生彩も筋肉の豊麗も唯赤玉
の一杯にあるを！知り玉へ

類似品多し赤玉と銘記を乞ふ



一、好むもの道々
 羅南道生れ郷土七事日精加磨
 助二ミが酒から
 中へは其より決定せる稲荷の細し犯人捜中の無
 聞中へは此故知んた無
 花もに本に引及ぶ重にも
 方を通す
 ひて中村未敷第三條に重傷を
 警察に打申し申押さ
 魔燈頼子す
 床下に



參衆十餘萬街の上に溢れて警戒頗る嚴に
 神樂罷々陽炎に映發して眼も緩な
 市内各署非常召集で嚴戒

故孝太子殿下の御立崩を、大廟に遷し奉るゝする御付崩の大儀は三十日午後一時より殿がに執行せられたり此の日天氣晴に於て全群より此の盛況の盛典を見んきて参集せる御衆十萬と稱せられ婦人の電車又數點より海宮に至る道路には遊樂する婦人の群衆夥しく如く街上に溢れ陣車数線の兩側を歩かせる側服着人垣を造り、群衆を制止する警備の警物々し

準備全く成
出發前の皇宮の雜宮

此の大儀に於て是日午後二時より十九日午後二時

二色ノ蜀官

非番非常召集
其後は漸次男子が増加して
各縣署では非番員を招集
隊を編成するに共に所謂郷
に應援せしめ騎馬隊は隊山
道遠く、隘路、平地、地方
近郊は勿論京畿道を始め忠
付廟の大儀を觀んもの、三

非番非常召集

其後は前男子を増加して、各隊は、**非番非常召集**の令に應ずる。この時、近郊には勿論原隊を始末し、遠道へ来るものは地方に遊蕩せざるやと注意され、入城者も多く早朝から導んで取締に従事して居るのである。

日付勘の大旗、砲んごの府内、西大門通までには事故はなかつた。

ロシヤのダンテ

榎橋には縷毛毬を敷詰め
 兩側には盆栽數百を列べ

十重三人を遣り御膳の邊候には、毛氈を敷き、床褥には、金襴敷、白を
國旗は海風に飄る。總督は香取に赴き、殿下に拜見し、殿下は白の海軍白服
され、鐵水雷艇にて御上覧。吹安陣にて、島津海軍總司令を御見聞。
越しの六町立上の馬車にて下町民衆に、總督府に行政夫人を接見、遊ばし
、御膳廳に成りたり。公式とは、云へ、公式に類するものなり。御膳廳
し、且つ御茶會、殿下を迎へ、市民は一體に敬愛の念を表せり。在留日本
僑團及び若き時分の衆の形勢、一瞥を感ぜし。午後七時、殿下は再び總督
せられ、晩餐を受けし。八時半、御膳廳遊ばし。午後七時、殿下は再び總督

殿下の
小猿
幅
舌

三御慰み

上野原に御座在中に留
新嘉坡に御座在中に留
木大倉より小狼を献上せるに
も興がらせぬの交際には既
に其れ他諸相手にデシキて
師消息を傳へらるるに

しめり水兵三供に
二兩殿下並に御
印度洋の外は
通信御口

れるなこの御遊戯より御夕食からね徳海の中を
 は御日記を記させられ御感想いゝこの雄々しき
 御記しあり夜は活動真眞の催痛く感拜したり云

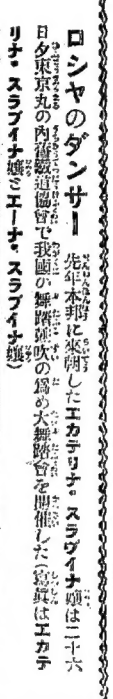
宮殿下には過般新嘉到御香連の殿南閣下に對し
の御消息を認められたる御御容を御發給遊され
るに御著二十九日外務省の手を經て無山に
に據せざるにイト御御容に拜せられ近侍に對し
を賜りたりと承る (東京電報)

鐵道學校卒業式

中に
たりに因て卒業生は二名にして、在學中のもの總員卅三名

件は全く學務當局
手裡に在るらしい

計畫の進捗

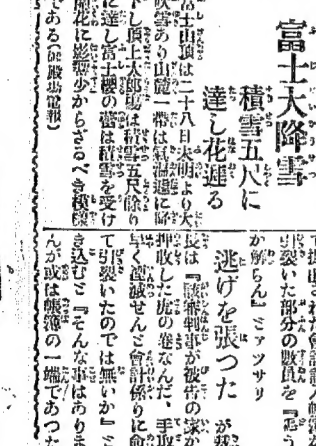


豫密の恐ろしい虎の子を
鬼門に云ふ裁判長の忠告

萬事實の端本庄二郎と共謀して何かの調子に引
 續け手段を弄して大正六年十月せうこへ行く
 山から八月二日四日迄に
 主の目撃
 云ひ聞く

に損害を與へた事實は承認し、同時に證據品中の一部とし、進んで三時十

逃げを張つたが義朝は「義朝が逃げたのは、お家の家から取上げたお宝を盗んだ手取りの賞銀を金儲けに命じらるゝに無か」と、お義朝に「そんな事はありませぬ」といふた。お義朝は「お宝は盗んだが、お家の家から取上げたお宝を盗んだ手取りの賞銀を金儲けに命じらるゝに無か」といふた。お義朝は「お宝は盗んだが、お家の家から取上げたお宝を盗んだ手取りの賞銀を金儲けに命じらるゝに無か」といふた。



軍幕にて御見送りあらせらる

千原下には昌徳寛政化内門の

富山兵第六十九聯隊にて廿

四月四日富山

四十名の先發

四月四日富山

千原便の爲め外泊

掃部より付願せらるべき故李太
 府下の林氏、金武姿あり北邊
 られ太廟なる付願の太廟に御
 列あらせられたり

儒林建約所

八日午後三時全郡を警備に集
 合せしめ居懸敷長正並に西
 方和出動命令を得たる上一班
 の出陣は十一口鐘
 の訓示を與へたるより陰日の空
 蒼日に雲張を加へたるが廿九日
 より三日間の休暇を與へ告別其
 り(入電報)

例に依つて
不得要領

ふで、儒生を連はいたく
を觀し歸化建館を府内五區
に設立し、歐陽子・ある呂氏
常の大道を教へ鼓吹せんと、鄭
蕙氏を代表者として諸藩書を
前に提出した

例に依つて
不得要領

第二目の冊日は前日（二）日の
下時（朝廷）され裁判官は
先づ前社臣の奥旨（意）を
の難問（むづかしい問題）は初めの日には
日に決断（けつだん）するもの多し
と發刊（はつかん）し定刻（じやうこく）より前刻（ぜんこく）に至る

虎の子ご 裁判長の皮肉

家の科目を要求した。す
 生ひ然も密金藏は不徳の
 ことなつた。川取の横
 午後五時迄は一時半の
 の間始された
 何かに調へに引裂かれたので
 へ行く

一城南と
 呼ぶ申合せ
 龍山町は京城府の右に
 龍山町にあり、
 村の如く、龍山を標
 るは現時、繁なる發見に

露落した唯一の證據物件だ。判事が虎の子にするだけだが、は鬼門さ」と笑はせる平凡な南」と稱し京城市内を「

[illegible]

國書を携帯して來朝し

印度を経、更に泰夫より陸路で京へ急ぐ僧職に公云
旅人は廿五朔、門路を過東上十七夜、東國に到
云將に亞細利亞より特遣した楠東蘇在外に派
軍少將エニルカデナリ氏(この一行でエニルカデ
ナリ氏及通譯の三人でゐるカデナリ氏は東京の
もせて通譯を介して語つた)我達アラビと稱れ、日本
もこの僧侶である色で、我々もこの僧侶はど
ろ、富士山のも日本は彼國に居る時、我々に傳

都山
天
指
南

[illegible]

莫能直達

[illegible]

學
器
角
兒
三角
三
各
潮
取
地
各
荒
市
福

校
威權の界具
板黒消豊
掛腰机用童
他の其
は具器械學角
て以を故の平際
品定指の校學
す早も價定第大
れあ込申者望帝戸次

五七一第丁番二町戸

朝鮮總督府
地方官官制

大正十一年
定部
改定

朝鮮社會階級
燃料問題
朝鮮ニ於ケル優
普及ノ成績(下)
朝鮮經濟

年一
號
原五錢壹利
國七金
店售

人
○平壤栗
昂麗板大藏

魚羊

● 北鮮紀行二
● 朝鮮の歌
● 攷事雜纂
● 近世の文壇
● 於ケル頭領の現狀
● 二ノ作ノ現狀
● 三ノ作ノ現狀
● 四ノ作ノ現狀
● 五ノ作ノ現狀
● 六ノ作ノ現狀
● 七ノ作ノ現狀
● 八ノ作ノ現狀
● 九ノ作ノ現狀
● 十ノ作ノ現狀

[illegible]

非 解 散 賦 有 利
 成議の便宜を援助を與ふるが如
 し先來東京に於て唱へ解散の
 案銀行を東京に移すに交渉
 續中なりしが近來清米を認め
 たるが如く爲めに從來の解散派
 の排中一時一變したるもの
 あり同時に或一派に於ては先已來
 東京に於て排中主義を唱へし
 解散派の六萬株の權利を始めて
 行使するを要求すべく國庫總動
 員を主張するに及ぶ云ふが點に於て存留派
 が斷言しては其存留に就き
 に有利なるが如し

[illegible]

年度末三月下旬は多少の増加を
見るを以て之を前年度の二七・七
百五十萬圓に比すれば約二千万
圓の増加を見る模様なり

京城證券信託株式會社の重役には
京城銀行株仲買館よりも二・二名
の重役は出さん希望のいたるが
一方には仲買人側より重役を出
す事は可なりと云ふの道もあり

實銀博仕事情

（泉本報特選）

前東京實業銀行行務部長吉田清水
氏、昨（廿九）日、山手支店長の
陳仁氏を伴ひて、同市川尻支
店へ來り、午後一時、同市川尻支
店本館の本店支店長、藤島支
店長に會ひ、その會談に際して、同
行の職員、同市によは、藤島氏に
對する所託として、永田氏の都
たる機微なるが、結局廿九日仲實
人の打合せを経て、重役を出す
ことに決定したり、但し指名人選
は、以て右の方面の人選の都々もあり
仲實副總裁は一名位に止まるべく
田中友吉氏、川崎良太郎氏等の
中にて決定を見るにあらざるか
云々。

出に依る。其城郭を略取。五分
 利國庫債券の（一號）發行額の好
 況にして三十日午前十一時迄に
 既に五百圓券四枚、百圓券十五

[illegible]

計 画 進 捗 率 上 昇 率 左 の 如 き の
 一 地方農民に茶葉栽培の實地教授
 をなすために各地方に植民地より
 に奉る駐在の各地方に茶葉栽培
 増殖場を設けんとす而して代
 植民地に於いては茶葉栽培に
 かりし二月初旬に比し昨年は取
 引取況一變しきしと現金取引
 行はれ居る爲にて早稲現金取引
 は全取引の十分の八を占め居れ
 ると云ふ

撫順炭手加減

撫順炭は、日露協定の否決に伴れ、因
り、現角に現在に於ては本間開
は、大觀と云れ、格らず

撫順炭の採掘は一ツ所一面限
る。故其の供給は不足に於て、此處の
結果内地に於ける蘭炭、七島炭の供
給を内地に製作する同一方法により
支拂の成果を見るを以て、炭手に
對する金價を下落する者をして共に
感ずる。

特に市場での取引上差支の生ぜぬ
爲め同時に製品の處理に於て一
方一大企業家へ製品を統一的に
賣出す。

炭手が各地方炭場主を得得る
ことにより、左述の群衆を伴作人

[illegible][illegible][illegible][illegible]

日朝滿遼阿東臨苗滿阿東同詳銘	動訪宅取新株新銀亨新拓新錫新松	三十日新堀
九一〇三一五二一五四二	七九一一一五六三三八七八四九	〇〇〇七五三〇五〇〇五五
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
九一〇三一五二一五四二	八八三六二六六二二一五六四九	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

東京現機

[illegible]

直上取七、八、四〇 七、八、四〇
 大九、一、八〇 九、二、四〇
 安東株式

三九九〇・八〇
 安祿(安)二〇〇・二〇〇・一
 九九〇・八〇・七〇・八〇・九
 〇二二〇・一〇〇
 大新(今)九二九〇・三〇〇
 五〇〇・七〇・五〇・六九三
 出塞高甲 一萬二千三百四十枚
 墨計甲 四十六萬三千六百五十枚
 十六萬一千三百六十五枚

二度目の春色
 我様武界は今融緩暖の刺戟を受け
 世間は尙冬景色なるに對し早晩

大相模を舟しりぬるの詠句へして、後援した。此早秋の櫻は海外経済界から吹き来る雲雨に感ずるや、春爛漫として二月から四月迄豪華に咲く。各数の濃紅に依つて醜態の例え買ひ賣ひの様式に繋ぎと思ふに賣方多くある如く思はれたけれども一巡賣られた相場は最も前らしい小落を測り、事なきに至る。此小鈴りが相場に向かう意味を持つてや否やは斷言せられなげども一巡下の相場大

[illegible]

の株金成金は元の歩に還り、投機資金は
佛に渡済し、
而して其間多歩殺して、居た手筋が此
月の品點を見て、桑田に、横濱相場、短

の姿態、際立って、再三の打撃を受け、
たゞであるから、技、腕の力は一層盛
つて居る勘定である。斯くて、相場の
反撥力も自然鈍るの毎向のゐるのは
事ばれない。

●所が、さうして世間の不意料で普通
の弊疾が餘り香ばしくなく、又あるか
ら、株の思惑に興味を背、或いは持た
ず、つて状態が少し面白くない様であ
る。小儲けする事ではある、但し、前
小儲け位では却つて乗出し、但し、前
大體に於て、儲け合、状態懸、相
大が相場足の足取は穩健である。英
にならぬ。

一、二月の間から此の關係上の事柄は頗る面白くないのであるが、取組閣の英首相は三月の下落に依つて大部の株式を取られた様であるが、海外の經濟事情や棉織、生絲の需要を見るに、既に却つて面白く相場を弄する者も知れない。初めの春色はすくなく早速で、然し挫折したばかりと一服目の春色には百花の萌發たるを共に慶賀するものである。既に角月來から春月の市況は思案者にと、五一年興旺の年である所であらう。

[illegible][illegible][illegible]

三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

[illegible][illegible][illegible][illegible]

<p>本館新刊 石印</p>	<p>本館新刊 石印</p>	<p>本館新刊 石印</p>	<p>本館新刊 石印</p>	<p>本館新刊 石印</p>	<p>本館新刊 石印</p>	<p>本館新刊 石印</p>	<p>本館新刊 石印</p>
--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

新界の高級品にして色
 澤の東洋的なるもの對抗
 力が十八金銅と同一な
 るを特徴とす

品 日

ワグネルサムズ及エルソン
エニケル及モリス
エニケル及モリス
エニケル及モリス

各地方の各時計店
各地方の各時計店
各地方の各時計店
各地方の各時計店

沙田

仁川支廳

[illegible][illegible]

凡所原形質及精
 神之氣血皆由
 此而生也
 此乃人身之
 根本也
 凡所原形質及精
 神之氣血皆由
 此而生也
 此乃人身之
 根本也

明書造幣
五圓券
三圓券
一圓券
伍角券
二角券
一角券
五分券
二分券
一分券

大塚製造
約店京城明治屋

應需
トール
子
佐藤小五郎
語四〇九番
病院

あけほの
曙

邪魔物(6)
「邪魔」は「邪魔に咄いて目をして
置つた。」
「わ、然うもこれに引き換へ
る。先づおのれが勝算をみた。
『罪もないのを、何の口實でそ
んなことが出来るんぞ?』と一
瞬間は囁きふくに、
「私もあんなには言はれて、一日まじ
り腰かちをつて見せした。しかし
肝心な點に獅子の様を見たりし
むべたりしてその自分が悪か
つたのです。自分の義理であつ
たことが判つたのです。獅子は
腹も無理はないと思ひますわ。

[illegible][illegible]

<p>文芸</p> <p>分利</p> <p>著者宛の事</p>	<p>出版部に關する紹介は、總編輯本誌問</p>	<p>ルオタ</p> <p>東京朝日新聞 電話二二三番 振替五城五三二號</p> <p>上旬商店</p>	<p>「思ひ當るこころ、それは一體いふふきです。聞かして下さい。構ひません。周がして下さいます。展覧にも希望者のやうになつて、ふら〜と結婚子の方へ歸乗り出して來た。さうして、其の眼は異様に光つた。</p>	<p>「思ひ當るこころ、それは一體いふふきです。聞かして下さい。構ひません。周がして下さいます。展覧にも希望者のやうになつて、ふら〜と結婚子の方へ歸乗り出して來た。さうして、其の眼は異様に光つた。</p>	<p>京染</p> <p>新報社 地方に注文 梁龍聖</p>
---	---------------------------------	---	--	--	---

本町一丁目 有樂 喜樂館
 三月廿五日より、新映掛切
 電影 内海の財宝

新市街 富美の家来吉 全五巻
 新市街 富美の家来吉 全五巻
 新市街 富美の家来吉 全五巻

電 音 ブライズ 全十巻
 電 音 ブライズ 全十巻
 電 音 ブライズ 全十巻

大川友右衛門 全七巻
 大川友右衛門 全七巻
 大川友右衛門 全七巻

電 音 浪花座 全三巻
 電 音 浪花座 全三巻
 電 音 浪花座 全三巻

開演 開演正六時より
 開演 開演正六時より
 開演 開演正六時より

電話 七六八 壽 館
 電話 七六八 壽 館
 電話 七六八 壽 館

東新町 一行三時開演
 東新町 一行三時開演
 東新町 一行三時開演

山崎 錦子 全十巻
 山崎 錦子 全十巻
 山崎 錦子 全十巻

[illegible][illegible][illegible]

電話一六三七
黄金町
黄金館
當る三月三十一より特撰映画公開

工場にも

煙な臭がなく、汚物を落とす力は強く、肌を荒らすことがないので、汚れた手足などを洗ふに適當してゐる。

洗濯にも

この石鹼を溶いた湯の中へ、汚れた布を入れて、軽くして、濯ぎ出せば、揉み擦る時間と力を省いて、手軽に洗濯が出来ぬ。

臺所にも

臺所の器具や食器を清潔にして置くことは、衛生上必要であるが、この石鹼は其目的に叶ふやうに製造されてゐる。

洗面にも

流し穴で洗ふ器具やまた一寸した洗濯には、從來の浮石鹼と品質を異にした、極めて優良なこの石鹼が、最も好ましいものである。

○實用白石鹼

みつわ。しろしやばん

この實用白石鹼は、日本人の皮膚手製の洗滌に叶ふことを特長としてゐる優良な、ミツワ石鹼の原料と同じものから製造されてゐるので、品質は確く純良、從來の白石鹼は、いかつたり落ちが悪かつたり硬いなどの缺點があるもの多く、此だ不潔であつたが、この石鹼はそれ等の缺點を悉く除いて、十分に吟味して製造されてゐる、價値も大に安く、一般の家庭になくてならぬ實用的な品である。

○ミツワ石鹼本舗

東京市日本橋區橋町四丁目

丸見屋商店

御遠方寄附者様宛（三）四四〇・四四九・四五〇
郵便振替〇ミヤ・振替貯金口座東京七一〇〇

特價一個金貳拾錢

(國貨製品現)

3-1

[illegible]